



- 募集人員** ◆ 一般市民・大学生・高校生 30名
- 募集期間** ◆ 平成24年9月3日(月)～9月28日(金)
- 受講料** ◆ 2,000円(大学生・高校生は無料)
- お申し込み方法** ◆ 下の「払込取扱票」に記入の上、受講料の振り込み手続きをしてください。通信欄には、職業、年齢を記入してください。先着順に受け付け、受講票をお送りします。
なお、大学生・高校生は、メールあるいは電話で、住所、氏名、電話番号、年齢を下記のお問い合わせ先にご連絡ください。
- お問い合わせ先** ◆ 〒990-8560
山形市小白川町1-4-12 山形大学人文学部事務室
TEL: 023-628-4203
E-mail: jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
- 会場案内** ◆ 山形大学人文学部1階 104教室
大学正門を入って正面の建物です。
受付は人文学部正面玄関にて行います。
- その他** ◆ 【公共交通機関ご利用のお願い】
現在、山形大学小白川キャンパスでは、駐車場が非常に手狭になっております。公開講座当日はできるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。

この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

ご注意
この払込書は、機械で処理しますので、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

この場所には、何も記載しないでください。

平成24年度山形大学公開講座〔人文学部〕

平成24年度 山形大学公開講座〔人文学部〕

私たちの暮らしと経済

10
2
火

景気の見方・考え方

人文学部 准教授 野田 英雄

10
9
火

国・地方自治体の財政再建問題 — 増税、それとも経済成長？ —

人文学部 教授 貝山 道博

10
16
火

円高と日本経済

人文学部 准教授 山口 昌樹

10
23
火

失業者のセイフティ・ネット

人文学部 教授 安田 均

10
30
火

中心市街地活性化を考える

人文学部 教授 是川 晴彦

日 時：平成24年10月2日(火)～10月30日(火)
午後6時30分～8時10分 [火曜日 計5回]

場 所：山形大学人文学部1階 104教室

対 象：一般市民・大学生・高校生 定員30名

受 講 料：一般 2,000円

大学生・高校生は無料

募集期間：平成24年9月3日(月)～9月28日(金)

■お問い合わせ先

山形大学人文学部事務室

電話：023-628-4203

E-mail: jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

私たちの暮らしと経済

講座の概要

日々の暮らしの中で私たちが直面するさまざまな問題は、日本や世界の経済の動きと密接に関連しています。例えば消費税増税の問題は、日本の少子高齢化や財政赤字の拡大という状況と関係しています。また雇用の先行き不安は、日本の国際競争力の低下や歴史的な円高と結びついています。

この講座では、私たちが暮らしの中で直面する具体的な経済に関わる問題を素材に、それがどのように日本や世界の経済の動きと結びついているのかを解説し、問題が生じる理由や解決策についてどのように考えていけば良いかを学びます。

10/2 第1回目 景気の見方・考え方

人文学部 准教授 野田 英雄

内閣府の月例経済報告では、「景気は緩やかに持ち直している」、「景気は依然として厳しい状況にある」等の表現がよく使われています。ところで、そもそも景気とは何であり、景気の良し悪しはどのような基準から判断されるのでしょうか。また、近年の日本ではしばしば失業問題が大きく取り上げられ、一般には不景気が失業率上昇の最大の原因と考えられています。しかし実際のところ、不景気に起因した失業率はどの程度の大きさなのでしょう。この講座では、景気変動とその周辺のトピックスについて簡単な解説を行います。

〈専門領域：マクロ経済学、経済時系列解析〉

10/9 第2回目 国・地方自治体の財政再建問題 — 増税、それとも経済成長？

人文学部 教授 貝山 道博

今ギリシャ・スペイン・イタリアなどの財政再建が問題になっています。景気悪化がこの問題発生の一因ですが、財政規律を無視した放漫な財政運営が一因であることも確かです。日本はどうでしょうか。景気の悪化のみならず、少子高齢化が同時に進行している日本では、この問題はより深刻です。国だけでなく、国にどっぷり頼っている地方自治体も同様です。果たして国・地方自治体の財政再建は可能でしょうか。そのために何を行うべきでしょうか。増税、それとも経済成長？本講義ではこの問題を論じます。

〈専門領域：財政学、都市・地域経済学、開発経済学〉

10/16 第3回目 円高と日本経済

人文学部 准教授 山口 昌樹

2008年秋のリーマン・ショック、2010年のギリシャ危機と続いた世界的な金融危機のあおりを受けて円高が問題になっています。景気回復のきっかけとなるべき輸出が円高によって伸び悩んでいます。このように世間では「円高＝悪」という図式がまかり通っています。しかし、国際金融の基本知識を学ぶと世界は違って見えてきます。円高は悪いことなのか、今は本当に円高なのか、という課題を考えることで日本経済が置かれた状況を再確認しましょう。

〈専門領域：国際金融論〉

平成24年度 山形大学公開講座〔人文学部〕

10/23 第4回目 失業者のセイフティ・ネット

人文学部 教授 安田 均

現在、生活保護制度では被保護人員が毎年毎月伸び続けています。関連して、不正受給や親族による扶養義務が話題になっています。確かに高齢者世帯は世帯別分類では4割強を占めています。しかし、近年急増しているのはこれまで約1割に過ぎなかった分類上「その他の世帯」、労働能力のある層です。失業者がなぜ生活保護に流れ込むのか、解決法はないか、考えてみます。

〈専門領域：経済学原理論〉

10/30 第5回目 中心市街地活性化を考える

人文学部 教授 是川 晴彦

近年、中心市街地の活力低下が問題となり、様々な都市が中心市街地の活性化に取り組んでいます。この講義では、はじめに、経済学の考え方をを用いて中心市街地の意義や特徴について検討します。そのうえで、いくつかの都市における中心市街地の現状や活性化策を紹介しながら、私たちの暮らしのなかで中心市街地はどのような役割を果たしたらよいのか、そして、中心市街地の抱える課題を解決するためにはどのような取り組みが求められるのかについて考えていきます。

〈専門領域：理論経済学、公共経済学〉

02		払込取扱票		通常払込料金 加入者負担						
口座記号番号		金額	千	百	十	万	千	百	十	円
0 2 2 6 0 7		9 2 4 7 8					2	0	0	0
加入者名 国立大学法人山形大学		料金	備考							
※「私たちの暮らしと経済」申込書 ※この払込用紙は、1人1枚をご使用ください。(人文学部) ○職業をお書きください。() ○年齢をお書きください。() ○今後の連絡の便宜のためにEメールアドレスをお持ちの方は ご記入ください。() ※個人情報について 提出いただいた書類の個人情報は、本公開講座の参加に関する手続きのみに使用し、第三者に開示・提供・預託することはありません。ただし、ご承諾いただける場合は、今後の公開講座やセミナー棟のご案内を本学からお送りする場合がございます。口承諾する 口承諾しない (いずれかをチェック願います)										
おとこ(郵便番号)										
※おなまえ		様		日						
ご依頼人		(電話番号)		附		印				
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号仙8982号)										
これより下部には何も記入しないでください。										

振替払込請求書兼受領証	
口座番号	0 2 2 6 0 7
加入者名	国立大学法人山形大学
金額	千 百 十 万 千 百 十 円 2 0 0 0
おなまえ	様
※ご依頼人	
料金	日 附 印
備考	

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

切り取らないでください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。